一人ひとりが自分らしく健やかに育つために…

子どもの未来を考える

お子さんの発達に不安を抱えている保護者のみなさんに知っていただきたいのは、自治体のサポート体制。茨木市の場合、就園前から18歳までライフステージ別に支援体制が整っている。

ライフステージに応じた支援

茨木市では、4か月児、1歳8か月児、3歳6か月児の健康診査を実施しており、言葉の遅れなど、発達に課題があり、早期からの療育が望ましい場合には「すくすく教室（1歳～2歳児）」や「ばら親子教室（主に3歳児）」などの児童発達支援事業所を紹介してくれる。「これらの事業所ではいろいろな遊び（親子遊びを含む）を通し、ともに経験する中で、親子関係、情緒の安定、言葉の獲得などの発達の援助や療育を行います。また、進路についての相談、保護者の子どもへの理解を深めるための相談、助言を行っています」と話すのは子育て支援課長の中井さん。

では、就園児や就学児への対応はどうなっているのだろうか？

「所属する集団（※1）で支援を受けたい人には、まずは子どもが毎日を過ごす場所の先生に相談してもらうことが大事だと思います。各施設では保護者と相談のうえ、子どもの状況に応じた様々な支援を実施しています。より専門的な支援を受けたい場合は、児童発達支援センター（※2）の職員が実際にその施設を訪問し、集団生活への適応のための支援等を行う『保育所等訪問支援』というサービスを利用することも可能です。また就学児の場合は、授業終了後、又は夏休み等の休業日に必要な訓練、社会との交流促進等を行う『放課後等デイサービス』も利用することができます」。

これらの支援サービスを受けるためにはそれぞれに条件があり、受給者証（通所支援サービスはオレンジ色）が必要となる。詳しくは左記の子育て支援課に問い合わせを。

お話を伺った方

茨木市こども育成部
次長兼子育て支援課長
中井　誠 さん

茨木市では発達が心配なお子さんのための「支援の手引き」冊子を発行している。希望する方は茨木市役所　南館3階の子育て支援課まで。

※1　所属する集団とは、保育所、幼稚園、認定こども園、小学校など集団生活を営む場として市が認めたものです。

※2　児童発達支援センター
療育に関する専門的機能を活かして、地域の障害児やその家族への相談、障害児を預かる施設への援助・助言などを行う児童福祉施設。

通所支援利用申請に必要な書類（茨木市の例）

- □ 申請書（子育て支援課で配布）
- □ 認め印（シャチハタは不可）
- □ 利用予定の事業所が作成した利用予定（計画）表
  ※支給量決定に必要となります。
- □ 療育が必要であることを証する書類
  例）医師の診断書、直近3カ月以内の発達検査書、保健所や医療センター等の意見書等
- □ 障害者手帳（身体・療育・精神）
  ※手帳を既に取得している方のみ
- □ その他必要書類　※個別により異なる

※申請書（添付書類含む）を受理し、通所受給者証が発行されるまでに10日から2週間ほどかかるので余裕をもって申請する必要がある。

■取材協力
茨木市役所　こども育成部
子育て支援課
茨木市駅前3-8-13　南館3階
072-620-1633
http://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kodomoikusei/kosodate/

それぞれの支援事業所では療育のアドバイスも受けられる

不安に思うことがあれば気軽に相談しよう。

0歳～18歳
児童発達支援・放課後等デイサービス

「運動・英語・リトミック・学習…」ノウハウを元に課題に多方面からアプローチ 一人ひとりの個性を大切に、発達を促す支援を

発達に課題を持つ0歳～6歳の未就学児が通う「児童発達支援」、小学1年～高校3年生までの「放課後等デイサービス」がある同校。OPENから半年、クチコミで広がりすでに50人ほどが通っている。母体が塾や英語・パソコン教室などを運営している会社なので、そのカリキュラムを導入することが可能に。関東で同様の施設を運営してきたノウハウを元に考えられた、〝伸ばす〟仕掛けが満載だ。

「学校の勉強よりも大切なもの、例えば創造性、発想力などを伸ばして欲しいと思っています。生きる力を養うために、自分の好きなものや得意分野を見つけてもらえれば。そのために、色んなカリキュラムを用意しています」と話すのは茨木校室長の保木さん。その話通り、同社が経営しているパソコン教室や、英語教室から講師を派遣し、プログラミングやネイティブの発音まで学ぶことができる。

〝協育＝子ども自身と保護者、教育者の3者の力が結集することで本人の潜在能力が最大限に引き出される〟との考えのもと、コミュニケーションは欠かさずサポート体制もばっちり。不安なことはその都度相談できる。教育関係者や保護者を対象に知能検査WISC―Ⅳ活用方法の勉強会を定期的に開催するなど、地域の教育力向上にも取り組んでいる。

将来の自立を考え送迎サービスを設けてないのだが、だからこそ1人で電車で通う小学生もいるという。子どもの成長、ゆくゆくの自立に向けてしっかり支援してくれる、信頼できる施設だ。

フラッシュカードも歌いながら身につくように…など工夫がたくさん。

明るく広々とした空間。フラッシュカード、リトミック、体操など様々なカリキュラムを行う。

優しく温かなスタッフさんばかり。「お待ちしてます！」

利用者の声

4歳の娘を持つお母さんのお話

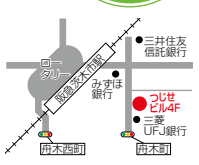
まず市の検診で発達が気になると言われたのが初めです。娘は言葉がゆっくりで、マイペース。幼稚園などの集団生活で本人が周りのペースに戸惑い困ってしまう場面があり、発達支援施設を利用しています。ここは、初めて来た時から娘が雰囲気をすごく気に入りました。色んなカリキュラムがあって、フラッシュカードでも音に乗せて工夫してくれたり、娘の言葉が増えるようなさまざまな仕掛けがあります。何より本人が楽しそうにしているのが1番。だからこそ、伸びていく期待ができ、安心して通える場所です。

児童発達支援クラス
曜日：火曜日・木曜日
時間：11時～11時50分
12時～12時50分
14時15分～15時5分
定員：1クラス1～3名

放課後等デイサービス
曜日：火～金、14時～18時
時間：土 9時～13時
定員：10名

無料体験会随時開催中
お気軽にお問合せを

興学社学園 わくわくクラブ
茨木市双葉町13-25
つじせビル4階　阪急茨木駅徒歩1分
受／11時～18時（火～金）
9時～16時（土）
定休／日・月・祝日
072-637-2515
wakuwaku-ibaraki@kohgakusha.com



18歳～60歳
障がい者デイサービス

18歳以上対象の障がい者デイサービス 機械浴など充実した設備が揃う

2月1日、「ピースフリー高槻」（サービス付き高齢者向け住宅＝サ高住）館内にオープンする生活介護事業所「CLAN高槻」。「地域で暮らす重度の障がい者の多くは、18歳で放課後等デイサービスや支援学校を卒業すると、重度の方ほどそれまでと変わらずゆっくりと過ごせたり、社会と触れ合っていく場所がどうしても限られてきます。また御家族やヘルパーの手を借りたとしても、ご自宅での入浴の難しさも伺っています。そうしたニーズを受けて、安心してご入浴できお過ごし頂ける場所を、との思いで新たに開設させて頂きます」。

生活介護事業は障がい福祉サービスの一つで、対象は18歳以上の障害程度区分3以上の人（50歳以上は区分2以上）。プログラムは障がいに応じて、生産活動に取り組んだり、生活能力を身に着けるトレーニングを受けたり、創作活動やイベントに参加したり…。スタッフや利用者との交流による気分転換の効果も大きい。運営主体のピースフリーケアグループは大阪府内に有料老人ホームやサ高住、生活介護事業所を十数ヵ所展開しており、蓄積されたノウハウと充実した設備が特徴だ。大熊さんは「車いすのまま入れる機械浴を完備していますから、ゆっくり入浴していただきたいですね。スペースも広く、医療機関と連携もしておりますので、御家族も安心いただけると思います。また、サ高住で暮らす高齢者との交流会などを実施するなど、可能性を広げていきたいですね」と抱負を語ってくれた。

「CLAN高槻」
管理責任者・大熊康浩さん

1975年生まれ。「約15年間、訪問介護を中心に介護の仕事に携わってきました。障がい者施設の運営は私の長年の夢。『CLAN』は『大家族』という意味ですが、お一人おひとりの家族になった気持ちで皆さんを支えたい」。

利用者に大人気のトレーニング用パチンコ台。手を動かす訓練と遊びが同時に。ほかにカラオケやゲームなども。（写真はCLAN東住吉で撮影）

内覧会を開催

1/27（金）・28（土）10時～16時

車いすに座ったまま入浴できる機械浴のほか館内の設備や雰囲気を体感してください。参加自由です。

障がい者施設では珍しい車いすのまま入浴できる最新の機械浴。自宅の浴槽に入れない人にとって、「ゆったり湯に浸かれる」機会は至福のひととき。

送迎／移動が困難な方の送迎あります（事前予約必要）
お問合せ・予約／072-668-6492

生活介護事業所「CLAN高槻」
運営／株式会社リアンハーモニー
高槻市氷室町1-10-51
営／月曜日～金曜日　9時～17時
定員／20名（1日につき）
送迎あり（高槻市・茨木市・摂津市）
072-668-6492
【利用料】昼食代1回550円ほか、世帯収入により減額あり